

こ ん に ち は 、 小 川 あ き ら で す 。

# きらきら通信

新春!! 来年度予算にむけた提言  
～その行方～

冬号

2012.1 冬



## 一期生議員研修

- 利根沼田地区実地調査!
- 北毛地区が抱える様々な問題

リベラル群馬／会派で勉強会

議会報告会／給与改定 etc...

大規模震災特別委員会／県内・県外調査

常任委員会

## 【 地元・前橋を考えるとということ… 】

利根川サイクリングロード『備前橋休憩所』・大利根マロニエ買物支援・『ふくしまや』オープン（千代田町）

# 希望の年へ。

2012年のはじまりは、天気にも恵まれた爽やかな朝となりました。  
皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜びもうしあげます。

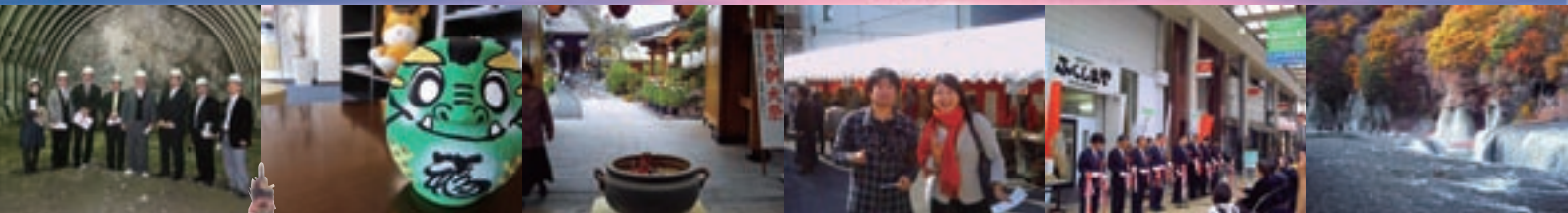
たくさんの年賀状をいただきましたが、議員は年賀状や寒中見舞いを出すことが制限されているので、こちらから年賀状を出せないのが残念です。

振り返ると、昨年は本当に大変な1年でした。震災発生から10か月が経とうとしていますが、被災で新年を迎えた方々、あるいは原発事故の影響で地元を離れることを余儀なくされ、故郷とは違った場所で新年を迎えた方々は、今なお大きな不安を抱えながら生活をしています。大きな転換期を迎えた日本は、困難な時代を一步一步進んでいかなければなりません。

また、日本だけでなく、世界を見ても混沌が広がっています。世界的な転換期に来ているのだと強く感じる年のはじめとなりました。しかし、今の困難や苦しみは、新しい世界を生み出すためのものだと思います。大きな可能性を秘めた新年の始まりです。

本年が皆様にとって希望あふれる素晴らしい1年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県議会議員 小川あきら



## 議会報告

11月定例議会が、11月29日～12月16日までの間開催されました。11月議会では、人事院勧告に基づく給与の減額や、正田醤油スタジアム群馬改修などの補正予算の承認・可決、指定管理者の指定などが行われました。

## 給与改定

人事委員会勧告に基づく県職員の給与0.3%カット、5月議会で条例改正した県議会議員の歳費削減（議長10%、副議長8%、議員5%）などにより、約6億円の歳出を抑えることができました。





# 大規模震災対策特別委員会

## 県地域防災計画の見直し素案の検討

新たに①県境を越えた広域避難者の受け入れについて、②県外で原子力施設事故が発生した際の対応について、③災害時要援護者等への一層の配慮について、④災害時等の燃料不足への対応について、などの視点が新たに設けられました。③については、福祉避難所の設置や、男女のニーズの違いや女性に対する暴力防止等に配慮した避難所運営、多言語情報センターの開設などが具体的に明記されました。また、④については、群馬県石油協同組合との災害時等におけるガソリン等燃料の供給に関する協定が結ばれました。今後さらなる審議を重ね、防災計画の見直しを行います。

## ボランティア団体や青年会議所などの民間団体との連携をより一層深めてほしいと要望

今回支援物資の運搬について、ボランティア団体や青年会議所などから「ぜひ手伝わせて欲しい」との申し入れがありましたが、支援物資を民間団体に渡すということが難しく、うまく連携がとれなかった部分があります。有事の際には物資の運搬以外の部分でもいろいろと協力してもらえることがあると思いますので、事前に協力体制を作っておくことを要望しました。

## 支援物資について

9月の一般質問の時には、4トントラック20台分の物資が残っていましたが、その後、宮城県や岩手県などに物資を運搬し、現段階では4トントラック7台分を残すところとなりました。支援物資の運搬には、どの地域でどのような需要があるのか、ボランティア団体などから情報提供していただきました。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

# 大規模震災対策特別委員会・ 県内調査 (11月28日)

東日本大震災直後、燃料不足が懸念され、ガソリンを求めて長蛇の列ができるという事態が生じました。当時の燃料調達状況を把握し、今後の防災対策に活かすため、高崎の日本オイルターミナル株式会社で、震災直後のガソリンの供給状況についての調査を行いました。調査に基づき、後日、群馬県石油協同組合との災害時等におけるガソリン等燃料の供給に関する協定が結ばれました。また、県央水質浄化センターにて、放射性物質を含む汚泥の処理について、玉村の五料橋にて、震災の被害と復旧状況について調査しました。

## 常任委員会・県外調査 (11月24日)

産経土木常任委員会で、銀座のぐんまちゃん家の調査を行いました。ぐんまちゃん家は、群馬のアンテナショップとして、物産品の販売や情報発信などを行っている施設です。銀座という土地柄、家賃だけで年間6000万円もかかっています。それを上回る宣伝効果を発揮できるよう工夫が必要です。その後、東京商工会議所で開催された企業立地セミナーに参加してきました。約100社が参加する中、知事自ら群馬のPRを行いました。参加した企業の担当者に話をきくと、やはり、災害に強いという部分と、北関東道の開通による交通便の良さに興味を持っている方が多かったです。企業立地件数にあらわされる工場（製造業など）の誘致だけでなく、流通業界の誘致にも積極的に取り組むチャンスです。



## 指定管理者制度とは??

指定管理者制度は、「多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ること」を目的として、2003年の地方自治法改正により創設された制度で、公園などの公共施設の管理・運営を民間企業やNPO法人などの団体に包括的に代行させることができる制度

## 県議会の豆知識



です。指定管理制度で重要なのは、指定管理者の選定過程（手続き）です。選定の公平性、一貫性などが確保されるように選定委員の選任には厳しいチェックがなされています。また、近年では、自治体の直営か指定管理者制度かという二者択一ではなく、施設の性質によっては新たな管理・運営手法の選択肢が必要ではないか、という新たな議論も生じています。

# 活動報告

## 主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 10月22日 NPO 法人Cosmos 創立記念講演会  
(講師/ 前田由美子さん、川田英利さん)
- 10月23日 東地区グランドゴルフ大会
- 10月26日 都市計画審議会、前橋JC11月例会 (講師: 古賀稔彦さん)
- 10月29日 連合群馬の年次大会
- 11月 1日 常任委員会・県内調査
- 11月 2日 西の市
- 11月 3日 弁天わっせ、ふるさと交流サロン「ふくしまや」開所式
- 11月 5日 東公民館文化祭
- 11月 7日 前橋市社会福祉大会
- 11月 9日 1期生議員研修 (北毛地区)
- 11月10日 都市計画審議会
- 11月11日 県議会議員と群馬弁護士会との意見交換会  
(女性センターの移転問題)
- 11月12日 JA 前橋祭り、ぐんま学園・学園祭
- 11月14日 リベラル群馬会派勉強会  
(講師: 環境政策アドバイザー片亀光さん)
- 11月15日 ぐんま女性議員政策会議・研修
- 11月17日 リベラル群馬会派研修 (東毛地区)
- 11月20日 東地区歩け歩け大会
- 11月22日 市町村懇談会
- 11月24日 常任委員会・県外調査  
(ぐんまちゃん家、企業立地セミナー IN 東京)
- 11月27日 衆議院議員宮崎タケノ国政報告会
- 11月28日 特別委員会・県内調査
- 11月29日 11月定例議会開会 (12月16日まで)
- 12月 2日 一般質問
- 12月 3日 弁天わっせ
- 12月 4日 高崎冬の祭典、太田大学ジャズフェスティバル
- 12月 6日 一般質問
- 12月 7日 一般質問
- 12月 8日 農政懇談会
- 12月 9日 前橋JC12月例会
- 12月11日 前箱田町一斉清掃
- 12月12日 常任委員会
- 12月13日 特別委員会
- 12月15日 新年度予算に向けた提言
- 12月16日 本会議
- 12月17日 連合議員懇談会
- 12月19日 前橋工業団地造成組合同定例会議、三森和也市議市政報告会
- 12月21日 都市計画審議会
- 12月22日 花とみどりのぐんまづくり協議会

# BLOG

ブログ  
やってます!  
ぜひ一度覗いて  
みてください



## 環境カウンセラー 片亀光さん

投稿日: 2011年11月15日

今日は、リベラル群馬の会派勉強会に、環境カウンセラーの片亀光さんをお招きし、講義を頂きました。『環境立県群馬への提言』と題して、污水处理問題・ゴミ問題、エネルギーや食料の問題といった身近な環境問題について、片亀家での実践を踏まえながらのお話は、とても勉強になりました。

ここで、講演の中で出てきた群馬県の順位をご紹介します。

- 水源県なのに污水处理人口普及率が全国34位
- 生活系ゴミの排出量全国ワースト1
- 平地林面積関東最下位
- マイカー保有率全国3位 など。

この結果を見ただけでも、あんまり環境が良い県とは言えないですね…。

- 雨水やお風呂の残り湯を有効利用する。
- ゴミを減らし、ゴミ収集車や清掃工場でのCO<sub>2</sub>削減。
- 平地林・緑地の拡充によるヒートアイランド現象の緩和。バイオマスの活用。
- 自転車利用の促進。コンパクトシティの促進 (自動車に頼らない街づくり)
- エネルギーと食料の時給自足

取り組むべき課題はたくさんあります。人と地球に優しい、そんな群馬県を目指していきます!

## 冬の祭典と

投稿日: 2011年12月4日

今日は、元プロ野球選手の河野さん (読売ジャイアンツ) や駒崎さん (西部ライオンズ) たちが経営する株式会社ドリームチーム主催の野球×農業のコラボイベント『たかさき冬の祭典』に行ってきました。昨日までの雨模様が嘘のように、朝から気持ちの良い青空! でも、球場内の風はちょっと (かなり?) 冷たかったです…。プロ野球OBのホームラン競争や地元選抜チームとのドリーム試合、野球教室など、楽しいイベントが盛りだくさんでした。とくに、ギャオス内藤選手とジョージマン北選手の掛け合いがとても楽しくて、会場内を盛り上げていました★

選手達を応援してくれたのは南相馬市のチアリーダーチーム。6人の子どものうち、今南相馬市に居住しているのは一人だけだそうです。自分の家に戻れず避難生活をしている子どもたち。今日は、この高崎の地で久しぶりにみんなが集まったとのこと。今なお避難している多くの人たちが、自分の故郷とは違う場所で初めての冬を迎えようとしています。年末年始も、各地域で温かく迎えてあげたいです。

## サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

Akira OGAWA



1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。前橋市内の事務所勤務を経て、2010年民主党の公認決定。2011年・群馬県議会議員 (一期)。

お神輿 (お祭り) 好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?

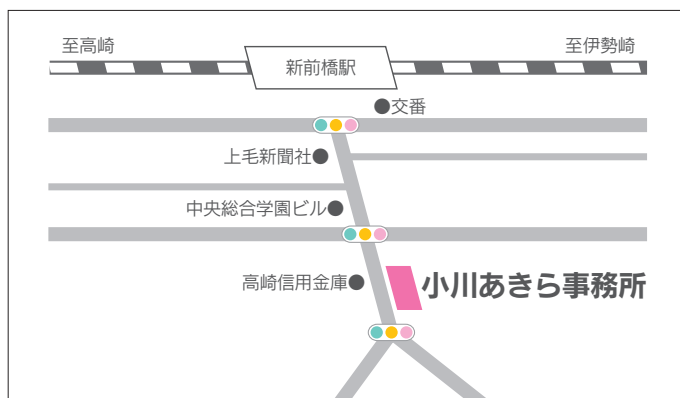


小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

● TEL.027-255-7700 ● FAX.027-255-7788

● URL: <http://akira-o.jp> ● Email: [info@akira-o.jp](mailto:info@akira-o.jp)





# 来年度予算にむけた提言

2011年12月15日、会派リベラル群馬で2012年度の群馬県予算への提言を提出しました。県内経済の活性化や雇用対策、大規模災害対応、放射能汚染対策など最重

要課題4項目17要望に絞り込んだ提言です。要望については、平成24年1月末までに回答をいただく予定になっています。

## I 県独自の経済活性化及び雇用対策への提言

- 1 採用に係るコスト負担の大きい中小企業と内定率の厳しい地元大学等とのマッチングに重点を置いた支援策を講じること。
- 2 地域における若者就職支援の「ワンストップ」拠点である、「ジョブカフェぐんま」の機能強化を図ること。
- 3 今年度で終了する「ふるさと雇用再生基金」事業については、その後の継続雇用に対するフォローをしっかりと行うこと。
- 4 地の利を生かした海外戦略を確立して、県内経済の活性化及び雇用の拡大を図り、併せて観光客誘致を積極的に推進すること。

## II 大規模災害対応、放射能汚染対策への提言

- 1 子どもへの健康被害に対し多くの県民が不安視していることから、有識者会議での答申にとらわれず、子どもの健康調査を実施すること。
- 2 切迫性が高まっている首都直下型地震を意識した首都機能移転構想及び防災計画を早期に確立すること。
- 3 市町村の地域防災計画を常に検証し、県の指導力を高めること。
- 4 東電福島第一原子力発電所の事故に起因する放射能被害及び風評被害については、関係機関と協議の上、損害賠償を支援すること。
- 5 危機管理の諸施策を強力に牽引できる体制を作るため、危機管理監を特別職とすること。

## III 新エネルギー推進に向けての提言

- 1 太陽光・水力・バイオマスの新エネルギー導入目標の設定にあたっては、本県の優位性を踏まえた「攻め」の目標値とし、併せて、目標達成のための具体的かつ地場企業のビジネスチャンス拡大にも繋がる施策を打ち出すこと。
- 2 新エネルギー関連企業の立地目標やEV、蓄電池の導入目標など、新産業創出・育成を目指した目標を打ち出すこと。

## IV その他重要課題に対する要望事項

- 1 DCの反省を踏まえ、観光と公共交通を結びつけた振興策を一層推進すること。
- 2 雇用と所得を確保し、若者や子供も集落に定住できる地域を創るため、農林業生産と加工・販売の一体化や地域資源を活用した新たな産業を創出し、農山村の6次産業化を推進すること。
- 3 今年度終了する国の基金事業において、介護職員処遇改善や子宮頸がんワクチン接種などの政策的に継続すべき事業については基金終了後も国の責任において実施するよう強く国に働きかけること。
- 4 超高齢社会の急速な進展及び認知症者の増加に伴い、介護の質・量を高めることが求められていることに鑑み、群馬県介護研修センターを現体制で維持すると共に機能を拡充すること。
- 5 精神障がい、身体障がい、知的障がいの本人・家族に対する医療・福祉施策を充実させること。
- 6 女性が暴力や命の危険にさらされることなく安心して暮らせる環境を整えるため、DV相談支援体制をより強化し、弁護士会やDV被害者支援団体・警察などDV支援に関連する機関との連携を深めること。

# 地元・前橋を考えるとということ…

# MAEBASHI

## 利根川サイクリングロード「備前橋休憩所」

備前橋休憩所に水道が設置されることになりました。備前橋休憩所の南北の休憩所にすでに給水場が設置してあったため、本来であれば水道設置が難しい場所だったのですが、現地の花壇の整備状況を実際に目にした県担当者から、「こんなにきれいに花壇の整備をさせていただいているとは。今ま

で重たい水タンクを運ぶのも大変だったでしょう。」という言葉が…。上新田町の皆さんの花壇整備の取り組みや自治会長の思いが通じ、水道を設置していただけることになりました。

## 大利根マロニエ買物支援

11月1日、上毛新聞に大利根町の買物支援の取り組みが取り上げられました。9月の一般質問の際に、買物弱者支援のケースとして紹介させていただきましたが、このように上毛新聞で大きく取り上げていただくと本当にうれしく思います。買物支援の方法には、移動販売や宅配サービスなど様々な方法がありますが、大利根マロニエのように、買い物だけでなく、お年寄り

が集まる楽しい場所が提供できれば、地域のあり方が変わってくると思います。地域のつながりが希薄になってしまった現在だからこそ、地域のつながりを取り戻す活動が本当に必要なんだと感じます。大利根マロニエの活動が、これからの地域のあり方のモデルケースになることを信じています。

## 『ふくしまや』オープン

前橋市千代田町（中央商店街）に、震災で被害を受けた福島県の経済復興と避難者支援を目的としたふるさと交流サロン『ふくしまや』が11月3日にオープンしました。福島県の特産物の販売のほか、避難者の交流サロンと

しても活用されています。ぜひ一度、お立ち寄りください。『ふくしまや』が前橋と福島をつなぐ、復興の手助けとなることを祈願しています。

## 1 期生議員研修

11月8日、県議会の1期生議員有志で、北毛利根沼田地域が抱える問題について、実地調査を行いました。建設中の椎坂トンネルの状況調査→鳥獣被害対策（モンキードッグの活用）→利根町過疎代行と、利根沼田地域ならではの課題があります。椎坂トンネルは、渋滞や積雪・凍結で懸案だった椎坂峠のバイパス整備事業です。モンキードッグは、サル追いに活用されています。犬猿の仲といわれるだけあって、サルには効果がありますが、イノシシなどほかの鳥獣に対してはあまり効果がないそうです。また、追い払いだけでは、一時的な効果しかないため、鳥獣被害を減らすためには、個体数調整と鳥獣が里に下りてこないようにするための森林環境整備が重要になります。なお、森林環境整備についてはいろいろな方法があり、例えば、日本熊森協

会では、どんぐり運び（クマのエサ補充）や化学肥料ではなく竹炭を利用した土壌改良により、豊かな森の再生を試みています（竹炭は放射性物質の除去にも有効だということで注目されています）。過疎代行事業では、山間部特有の行政需要について考える良い機会になりました。過疎代行とは、財政力・技術力が十分でない過疎地域の自立促進を図るために、県が道路や下水道整備の事業を代行することをいいます。都市部に比べ、山間部ではインフラ整備が生活や安全に密着していますが、同時に過疎という問題を抱えています。そうするとどうしても県の力が必要になってくる。県下全域の様々な声を、目と耳と心で聴くことが大切なんだと改めて感じました。

# INVESTIGATION

## リベラル群馬・会派で勉強会

# STUDY

11月14日、会派・リベラル群馬の勉強会に、環境カウンセラーの片亀光さんをお招きし、講義をしていただきました。『環境立県ぐんまへの提言』と題して、汚水処理問題、ごみ問題、エネルギー問題や食糧の問題といった身近な環境問題について、片亀家での実践を踏まえながらの説明は、とても勉強になりました。講義の中で出てきた環境に関わる群馬県の順位を紹介すると、①水源県なのに汚水処理人口普及率が全国34位、②生活系ごみの排出量が全国最下位、③平地林の面積が関東最下位（ヒートアイランドになりやすい）、④マイカー保有率全国3位、など。群馬県は、ごみやCO<sub>2</sub>をたくさん排出している県だということがわかります。雨水や浴槽の残り湯を有効活用したり、ごみを減らしたり（ごみ収集車や清掃工場でのCO<sub>2</sub>削減につながります）、平地林や緑地の拡充によるヒートアイランド現象の緩和、自転車利用の促進など、環境のために私たち一人一人ができることはたくさんあります。人と地球にやさしい、そんな群馬県を目指していきましょう！

11月17日、会派・リベラル群馬で、桐生市で行われている低炭素都市づくりについて勉強するため、桐生市にお邪魔させていただきました。桐生市では、群馬大学工学部と連携しながら、環境先進都市を目指して、様々な取り組みが行われています。わたらせ渓谷鐵道水沼駅の小水力発電設備で発電した電気を蓄電池に溜めて、EV自動車市内の充電ステーションへ搬送し、その蓄電池で電動アシスト自転車やEV自動車を充電し、市民に利用してもらう。ガソリン自動車ではなく、自転車やEV自動車の利用を促すことによって、CO<sub>2</sub>の排出量を減らそうという試みです。今後は、小水力発電設備を市内に増やしていき、その電気を利用した過疎地域への電気自動車の導入を目指すとのことでした。低炭素都市づくりには、「コンパクトシティ」を実現することが必要不可欠です。住まい、職場、学校、病院、遊び場など、様々な機能を一定の範囲に集積し、ガソリン自動車に依存することのない生活空間を作っていくことが大切です。